（毎週月曜日発行・定価50円）

絵画買取り致します！
油絵・日本画・版画・掛け軸等美術品全般
創業以来30年以上の信頼と実績
お気軽にご相談下さい
査定無料／出張査定も致します
画廊ルルド　越谷市千間台西1-8-10
【お問合せ】048-978-0036

読売新聞オンライン
毎月の新聞購読料金＋0円
紙面ビューアー機能で紙面をそのまま表示　毎朝5時に更新
お申し込み・お問い合わせはお近くの読売新聞販売店まで

読者と共に歩む
東武よみうり
週刊
THE TOBU YOMIURI SHIMBUN　第2239号
2024年（令和6年）1月29日（月）
発行所
東武よみうり新聞社
〒343−0843
埼玉県越谷市蒲生茜町3−9
電話　(048)987−0611
Fax　(048)987−0614

広告のことならお任せ下さい
読者と共に歩む
東武よみうり新聞社
越谷市蒲生茜町3-9
☎048(987)0611㈹
FAX(987)0614

安心弁当 運ぶ笑顔

生き生き「働ける高齢者」

越谷 キッチンとまと

「心も体も健康100歳まで」

見守り兼ね配達も

大量の弁当を手際よく作るキッチンとまとのスタッフ

可能な限り地場産の農産物を使い、安心・安全な弁当を手作りして、高齢者や企業・団体などに宅配している越谷市の「企業組合ワーカーズ・コレクティブ　キッチンとまと」が、今年で設立30年目を迎えた。作っているのは年齢67～83歳の女性たち約15人。「高齢になっても誰もが働ける場に」と、メンバーたちは生き生きと仕事に精を出している。

午前6時30分、越谷市蒲生東町の「日の出商店街」にある元空き店舗を改装した仕事場に、メンバーたちが出勤してきた。手分けして50～70個の弁当を作っていく。午前11時頃には完成。それを同年配の男性スタッフが1週間3人のローテーションで、高齢者の見守りを兼ねながら届けに行く。午前中の忙しい時間帯は、障害者の職場参加を支援する同市の就労支援サービス事業所「せんげん台『世一緒（よいしょ）』」の利用者が電話注文や配達を手伝っている。

「ずっとこたつに入っていたら出られなくなっちゃう。こうして動いていた方がいい。健康に気をつけてさ」。最高齢の北澤百合子さん（83）は朝から手も口もよく動く。

メニューも自分たちで考える。1か月20種類。無添加の食材や地産地消を掲げ、越谷産の野菜、米などを使う。

日替わり弁当580円、おかずのみ430円。ほかに「こしがや宿のお弁当」700円がある。江戸時代から伝わるもてなし料理を市民団体「こしがや地域ネットワーク13（ケネット13）」（駒﨑美佐子会長）が再現し、同店で商品化したもので、赤飯、ネギやカモ、ウナギなどが詰められ、企業や団体に喜ばれている。

また、毎月第2火曜日の午前10時から午後2時まで、越谷市役所そばの「水辺の市」に出店し、弁当のほか、農家から仕入れた地場野菜を販売。農業や環境保全を市民に伝えている。

設立は1995年。国産素材中心の安心な食材を届ける「生活クラブ生協」の役員同士で、「年を取って弁当を届けてもらう時、添加物が少ない方がいいよね。だったらそういう店を作ろう」という話が出たのがきっかけだった。ちょうど子育てが一段落した40代。老後を考えて起業に踏み切った。

「ワーカーズ・コレクティブ」とは同じ思いを持った仲間との共同事業で、全員が出資し、経営に責任を持ち、労働する協同組合。須長こうさん（76）が代表理事を務めるが、「メンバー全員が代表」と言う。それぞれのライフスタイルに合わせ、常時4人で弁当を作る。「みんな笑顔で、楽しく、元気にがモットーだ。

今まで続いているのは、高齢になっても活躍できる場があるからだ。「同世代が楽しく仕事をできたら、心も体も健康ですよね」と須長さん。目標は「元気で100歳までお弁当を作ること」という。

一緒に働く仲間を募集中。「70歳以上の方はもちろん、年齢・性別に関係なく楽しくお弁当を作りましょう」と須長さんは話している。

明日への終活

高齢者の住宅事情

老後の住まいの確保は、高齢者の大きな問題の一つです。賃貸物件に住んでいる人は「家賃を払い続けられるか」「老後も貸してもらえるか」という心配があります。賃貸住宅の場合、一般的な賃貸借契約であれば、更新を断られる心配はほとんどありませんが、新たな物件を借りたい場合は、オーナーが孤独死などのリスクを考え、断られることも少なくありません。

現在、日本の持ち家比率は約61％（全世代平均）ですが、今後の大幅上昇はあまり望めません。仮に65％まで上昇したとしても、2040年には約320万人の高齢者が自分の家を持たない状況になります。これら高齢者は高齢者向け施設、公営賃貸住宅、民間の一般賃貸住宅に住むことになりますが、施設や公営賃貸住宅で受け入れるには限度があり、大部分を民間の一般賃貸住宅に頼らざるを得ないと考えられます。

一方、持ち家の場合、家賃の支払いはありませんが、固定資産税のほか、マンションなら管理費や修繕積立費が毎月かかり続けます。一戸建てでも修繕費やリフォーム代が10～20年おきにかかることも念頭に置くことが必要です。

イラスト・手丸かのこ

自宅の維持そのものが負担になっているなら、「リバースモーゲージ」の利用があります。自分の死後は物件を引き渡すことを条件に、お金を借りるという方法です。自宅（持ち家）を担保にしてお金を借りる、高齢者向けの融資制度です。最大のメリットは、生きている間は自宅に住み続けられることです。

死亡後には自宅が売却され、その代金が融資の一括返済に充てられます。ただし、借りられる金額や契約できる年齢などはさまざまです。対象は首都圏に限定されていることが多く、一定評価額以上の基本的に一戸建てが多く、マンションは対象外だったり、地域によっては対象外となる場合もありますので、確認が必要です。

もう一つ、持ち家のある高齢者には「リースバック」があります。自宅をリースバック会社に売却し、売却代金を受け取る一方で、買い主にリース料を支払って自宅に住み続ける仕組みです。売却代金は一時金で受け取れます。物件は主要都市に限られ、最低価額が設けられていることもあります。引っ越しをせずに住み続けられる点が大きな特徴です。会社によって条件などが異なりますので、こちらも確認が必要です。

◇

終活サポートこしがや☎048・963・0538

「終活サポートこしがや」代表　根岸 幸徳

地場産こだわり30年

ワーカーズ・コレクティブ　キッチンとまと　越谷市蒲生東町18の13、日の出商店街。営業は月曜～金曜（祝日は休み）。注文は当日午前10時まで。越谷周辺なら注文できる。10個以上まとまれば場所により市外でも配達する。☎987・8088。

春日部市 給水車を派遣

能登地震 草加市は支援物資搬送

甚大な被害を出した能登半島地震で、春日部市は19日、石川県輪島市と志賀町に、2トン給水車、サポートカー各1台と上下水道部の職員4人を派遣した。22日から27日まで断水中の被災者への応急給水支援に当たった。

また、草加市は17日、同県内灘町に救援物資として「簡易トイレ用排便袋」と「し尿処理剤」5000セットを提供したと発表した。被災地では下水道も甚大な被害を受け、簡易トイレを使用しているものの、排便袋の不足が見込まれるためで、支援物資は市職員が直接現地に輸送した。

義援金11万6千円 街頭募金で集まる

八潮市社協

能登半島地震被災者の支援のため、八潮市社会福祉協議会（初山繁雄会長）は18日、同協議会災害ボランティア登録者の協力を得て、フレスポ八潮で街頭募金を行った＝写真＝。職員3人とボランティア8人の計11人が集まり、同施設1階のイベント広場とプロムナード（遊歩道）南側のTX（つくばエクスプレス）八潮駅方面の2か所で実施。1時間ほどだったが、通行人や駅や施設の利用者に募金を訴え、11万6392円の義援金が集まった。

浄財は中央共同募金会を通じて全額、被災者支援に充てられる。

同協議会では窓口でも義援金を受け付けており「窓口で募金していただければ中央共同募金会へ送金するので、ぜひ協力を」と訴えていた。

特殊詐欺防止啓発 YC3店に感謝状

越谷署

越谷警察署（赤星誠署長）は22日、特殊詐欺被害の抑止に協力したとして、同市内で読売新聞を配達している3つの読売センター（YC）に感謝状を贈呈した。

感謝状を贈られたのはYC越谷東部（川口一海所長）、YC大袋（太田和彦所長）、YC蒲生（関一則所長）の3YC＝写真左から＝。

同署管内では昨年、特殊詐欺被害が相次ぎ、認知件数で県内ワースト1を記録した。このため、同署は市民に警戒を呼びかけようとチラシ5000枚を印刷。特に大袋、蒲生両地区の被害が多いことから、昨年10月末、大袋、蒲生の両YCに2500部ずつ読売新聞に折り込んでもらい、購読者に届けた。

また、YC越谷東部は月1回、独自に発行している冊子で特殊詐欺被害防止を呼びかけた。

川口所長は「市民が安心・安全に暮らせるよう少しでも役に立てたらうれしい」と強調。太田所長も「高齢化が進み、自転車事故なども多い。地域社会を守る協力を続けていく」と述べた。赤星署長は「昨年前半、特殊詐欺は多い月で15件に及んだが、チラシの効果もあって、11～12月は3分の1に減った。これを今年も続けていきたい」と謝意を伝えた。

関所長のYCでは配達を兼ねて見守り活動も実施している。また、同市内のYCは長年、市内14か所の派出所・駐在所が毎月制作する「交番便り」を無償で印刷し、購読者に届ける活動を続けている。

同署管内の特殊詐欺被害認知件数は昨年93件（前年比6件増）、被害総額は2億7086万円（同7507万円増）となっている。

地域に貢献

松原手帳

日本経済の地盤沈下がまた一つ明確になった。2022年の日本の1人当たり名目国内総生産（GDP）がドル換算で3万4064㌦となり、経済協力開発機構（OECD）加盟38か国中21位だったことが昨年末、内閣府から発表された◆順位は前年から一つ落とした。比較できる1980年以来、最低だ。先進7か国（G7）では14年ぶりの最下位となった◆日本の名目GDPは4兆2601億㌦で、米国、中国に次ぐ3位は維持したものの、世界全体での割合は4・2％で、前年から0・9㌽も下落した。

その上、国際通貨基金（IMF）は、23年に日本がドイツに逆転され4位に後退すると予測している◆円安の影響をまともにかぶったとは言え、世界における日本経済の比重がどんどん軽くなっているのは間違いない。経済力の低下は発言力低下に直結する。厳しい国際環境にある日本にとって、これ以上の存在感低下は許されない◆昔は「経済一流、政治三流」などとやゆされたが、今や経済も二流に転落したと言わざるを得ない。低成長が長期化し、政府も有効な手を打てないでいる。経済界もダイハツ工業の不正など不祥事が目立つ。今年はせめて長期低落に歯止めをかける年になってほしいものだ。

読賣新聞
不正アクセスが急増。中小企業が狙われている!!
統合脅威管理（UTM）
トヨタ国内全工場停止
部品会社にサイバー攻撃か
企業のセキュリティーを1台で守るネットワークを見張る赤い箱
WatchGuard XTM
旧日光街道（足立越谷線）新田駅入口
ビジネスランド
048-935-0200

次回発行は2月5日
東武よみうりは読売新聞の購読者に無料でお届けします
東武よみうりホームページ「とーよみｎｅｔ」https://www.tobuyomiuri.co.jp/
東武よみうり×（旧ツイッター）https://mobile.twitter.com/tobu_yomiuri

感染対策をしていますのでご安心ください
当院では各種ウィルスや細菌に対しての感染対策を実施しています。
対策1 充分な換気対策
対策2 コップやエプロンなど使い捨ての物を使用
対策3 治療の基本器具など滅菌処理してウィルスを死滅
対策4 検温の実施
対策5 マスク・フェイスシールド・ビニールカーテンの使用
これ以外にも各種の感染対策をしています。
医療機関ですので一般的な店や施設よりも高度な感染予防対策をしています。どうぞご安心ください。
インプラント無料相談会
1/29(月)～2/11(日)
インプラントにより人工の歯全体を固定
入れ歯　インプラント
（ストローマン・ジャパン株式会社より提供）
インプラント治療では、全ての歯を失っている場合、このようにインプラントで人工歯全体を支えます。しっかりと固定されるので、ご自分の歯のようにかめます。きちんとしたメンテナンスにより長期間使用できます。
入れ歯でお悩みの方へ! 相談・検査を無料で行っています。お気軽にご来院ください。
みさわ歯科がインプラント治療で選ばれる“4つ”の理由はこちらから
みさわ歯科 春日部　検索
簡単便利24時間ネット予約
時間指定できます!
土・日曜日も午後まで診療
ドクター8名による担当医制で治療説明・カウンセリングは丁寧にわかりやすく
負担や痛みの少ない治療を心がけている歯科医院
医療法人社団 みさわ会 みさわ歯科 歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科 住所/埼玉県春日部市粕壁1-7-1 0120-11-8241 http://www.misawa-implant.jp/
医療法人社団 みさわ会 MISAWA DENTAL CLINIC ミサワデンタルクリニック 歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科 住所/埼玉県春日部市粕壁1-1-8 患者様用P20台 0120-296-718 http://misawakai.jp
診療時間 平日／9時～13時 15時～20時 土曜／9時～13時 15時～18時 日曜／10時～13時 14時～17時
無料送迎致します 要予約